



親子競走キッズの部で勢いよくスタートする参加者

22 部門で健脚競う

町民健康マラソン大会

町民健康マラソン大会は6月27日、町運動公園で開かれ、参加した約370人が健脚を競いました。昨年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となり、2年ぶりの開催となりました。

レースは男女別や年齢別、リレーなどの22部門で争われました。参加した選手たちはそれぞれ自己ベストを目指して走り、爽やかな汗を流しました。

災害時の防災拠点として

道の駅猪苗代「防災道の駅」に選定

国土交通省は6月11日、道の駅猪苗代など全国39の道の駅を災害時の広域拠点となる「防災道の駅」に選定したと発表しました。「防災道の駅」は防災拠点としての役割を果たすため最大で5年間、施設の耐震化や非常用電源の設置などの防災機能強化にかかる費用について、交付金などによる財政支援が受けられるようになります。道の駅猪苗代は、国道49号や磐越自動車道などの主要幹線に近く、災害時の拠点として期待されています。



「防災道の駅」に選ばれた道の駅猪苗代(航空写真)



モーグルコースに使われる急斜面を登る参加者

猪苗代湖望み「ゲレンデ逆走」

ゲレンデ逆走マラソン初戦・第2戦

スキー場のゲレンデを駆け上がる「ゲレンデ逆走マラソン」の今季初戦と第2戦は6月12、13の両日、リステルスキーファンタジアで開かれました。

初戦は1周2kmの周回コースを走る2時間耐久レースで争われ、第2戦は最大斜度37度のモーグルコースを駆け上がるコースで行われました。参加者はゲレンデの頂を目指し、眼下に広がる猪苗代湖の絶景を満喫しました。

亀ヶ城公園にホタル舞う

亀ヶ城公園のホタル

亀ヶ城公園内にある「ホタル生態園」周辺では、今年も6月中旬からゲンジボタルの姿を見ることができました。

例年、本町ではゲンジボタルを6月下旬に、ヘイケボタルを7月上旬から中旬に見かけます。ホタルは、曇っていて風がなく、蒸し暑い日の夜の午後8時から9時頃によく見かけることができます。ホタルを観察する際には、近隣の皆さんの迷惑にならないようマナーを守って鑑賞を楽しんでください。



亀ヶ城公園のビオトープ



Pick Up

今月の話題

翁島小学校 猪苗代湖観察会



小平瀨天満宮跡地を見学する児童

翁島小学校では6月3日、水環境学習の一環として猪苗代湖観察会を開き、3〜6年生の児童が参加しました。同校特別非常勤講師で猪苗代湖の自然を守る会代表の鬼多見賢さんが講師を務めました。はじめに、野口英世博士の父親、佐代介が育った小平瀨を訪れ、小平瀨天満宮跡地を見学。その後、安積疏水の上戸取り入れ口を見学し、猪苗代湖の水が郡山市で利用されていることを学習しました。郡山市湖南町の鬼沼から青松浜までは歩いて散策。かつて二本松藩と会津藩の境となっていた藩領境の大松跡などを見学しました。児童は「猪苗代湖の水は北岸よりも湖南のほうが透き通っていてきれいだった」、「魚が泳いでいるのが見えた」などと気付いたことをそれぞれノートに書き留めました。

まちの応援マガジン いなわしろ

広報猪苗代

Jul.2021
7
No.729

今月の表紙



【撮影日】 6月7日
【撮影場所】 さくらこども園

野菜の苗植えに挑戦するさくらこども園うめ組(4歳児クラス)の笠間陽月ちゃん(左)と本田悠くんです。(関連9ページ)

Contents — 【目次】

- 02 Pick Up
- 03 まちのわだい
- 04 特集 『さらに』新しい生活様式を
- 06 国民健康保険税の税率が決定しました
- 08 スクールトピックス/地域おこし協力隊通信
- 10 いなわしろタウンページ
- 14 暮らしの情報広場
- 16 みんなの美術館/食生活改善推進員コーナー